

5才児 有名小学校受験 チャレンジキャンプ



～「やる気」と「達成感」 わずか4日間で劇的にお子さまが変わります～



毎年、チャレンジキャンプについてみなさまからどのようなことをするのですか？とのご質問をたくさん頂きます。このキャンプの大きな特徴はペーパーワークは一切することなくすべてが体験学習で、それはプログラムをこなすことだけが目的ではありません。お子さまがプログラムごとに直面する小さな困難に自らクリアする知恵と工夫を生み出せるようになることを最大のポイントとしています。

小学校受験における「指示行動」「生活」「指示運動」「行動観察」の考査領域でひとつもミスをしな（減点の対象とならない）お子さまはいないと考えます。逆に考えると当然起こり得るミスをしたときのリカバリーこそテスターが重視していると言ってもよいでしょう。高い難易度の指示による作業や行動が出来たとしても、その態度、発声、表情などお子さまの本質が表れる部分をお教室や家庭で向上させることは大変に困難です。チャレンジキャンプではさまざまなプログラムの中でお子さまは当然失敗やミスをします。そのときに臆することなく堂々とした態度できちんと自分の気持ちや考えを相手に伝えることが大切であることを体得していただきます。

参加者の多くの方が超難関校の慶應幼稚舎をはじめとする多くの有名私立小学校、また有名女子校に合格されていることがこのキャンプの方針が間違っていないという証であると受け止めています。

人前力・発表力の強化

昨年のチャレンジキャンプからグループ形式口頭試問をプログラムに導入し、たいへん良い結果となってあらわれました。このプログラムは少人数グループに対して次々と質問し、お子さまは指導者だけでなくお仲間にも伝わる話し方で答えるものです。その内容は面接で質問される一般的な質問から心情を問うもの、また「言語」「季節」「自然」「位置」「記憶」「日常」などの領域から設問します。



- ・ペーパーワークは一切いたしません
- ・プログラムごとに『話し合い』をし『ゆずり合う』ことを体得します
- ・リーダーを全員が体験し堂々とした態度と人前力を身につけます
- ・プログラムはすべて自分自身で感じ取る体験学習です
- ・マンパワーをここまでつぎ込むのは甘やかすためではなく各プログラムをよりきめ細やかに指導し体験領域の幅と奥行きを広げるためです



日程	8月3日（金）～8月6日（月）3泊4日	
定員	年長児 24名 1グループ6名×4班	
指導	総責任者 TFS本部長	飯田 雅也
	キャンプディレクター	芝入 崇紘
指導	プログラムリーダー	浅田 恵一
	生活指導	飯田 亜由美
場所	各班TFSスタッフ	8名 1グループ6名に対して主、副指導者2名
	○参加者24名の場合、指導者計12名	
場所	TFS那須山荘（交通は往復貸切りバス）	





TFSチャレンジキャンプ 主な内容

- **親睦と協調** (徹底した話し合い)
- **リーダー会議** (発言・指示の理解・記憶・伝達)
- **グループ口頭試問** (発表力と人前力の強化)
- **指示行動実践** (個人・グループ・全員に対する指示行動)
- **言語** ・pledge (宣言) ・暗誦 (記憶と言葉) ・勝手に名前 (発想 想像) ・大声大会 (自信)
- **記録** ・ボイス日記 (言語 会話) ・指示絵画 (表現力 発想) ・撮影 (指示 記憶 伝達)
- **実験** ・日時計 (自然科学) ・風向きと強さ (自然科学) ・色の変化 (科学)
・磁石の特性と物の浮き沈み (科学) ・虹をつくる (科学)
- **作業** ・テント設営 (相談 工夫 協力) ・掃除 (協力 手順 用途) ・洗濯 (生活 手順)
・料理 (生活 協力 用具) ・買い物 (生活 計算 工夫)
- **計測、計量と位置** ・長さを測る (調査 工夫) ・重さを量る (比較 感覚)
・位置 (知覚 空間)
- **制作** ・指示制作 葉を使った絵画 (独創性 表現力) ・Uコン飛行機 (本番アイデア 工夫)
・Tシャツ染め (指示の理解 手順 独創性 巧緻性) ・かざ車 (工夫 仕組みの理解)
- **観察** ・見る (虫、植物の観察 発見) ・聞く (興味 言語)
・農家訪問 収穫 (知識と実際の差を体験 新たな発見)
- **グループワーク** ・宝探し (推理 協力) ・ギャルソンレース (相談 協力 応援)
- **非日常体験** ・テント泊・川遊び・ランクルツアー・虫とり・温泉・子どもパーティー
・キャンプファイヤー・流しそうめん

